

無償資金協力に係る事後評価票

(注)本案件は外務省評価案件であり、外務省による一次評価を踏まえ外部有識者による二次評価を実施していますので、評価項目ごとの二次評価結果を追記しています。二次評価の概要については、外務省ホームページに掲載されている無償資金協力におけるプロジェクト・レベル事後評価報告書(平成20年度)をご参照下さい。

担当公館名：在エチオピア日本国大使館	
国名：ジブチ共和国	案件名：基礎教育強化計画
E/N署名日：2003年8月29日	供与限度額：7.87億円
先方実施機関：国民教育・高等教育省	完工日：2005年5月7日
他の関連協力：	
1. 案件の目的 (B/D時の目標・想定効果を記載)	<p>ジブチ市及びディキル市において小中学校の建設及び必要機材の整備を行うことにより、初等教育及び前期中等教育(中学校過程)における教育環境が改善される。</p> <p>&lt;目標・想定効果&gt;</p> <p>(1)計画の裨益対象範囲と規模          裨益範囲：ジブチ市及びディキル市の就学児童          裨益人口：3校の新設小学校就学小学生 1,920人(2007/8年度)          ジブチ市就学中学生 11,547人(2006/7年度)</p> <p>(2)その他指標</p> <p>① 小学校の教育環境改善 2部教室の割合が23%(2007/8年度)          ② 中学校の教育環境改善 生徒数51.8人/教室(2006/7年度)</p>
2. 案件の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校3校、中学校2校の建設</li> <li>・ 機材(家具・教育機材)の整備</li> </ul>
3. 案件の妥当性	<p>全般的評価：A (外部有識者による二次評価:A)</p> <p>本案件は、2000年10月にジブチ政府が策定した「教育基本計画及び行動計画」に位置づけられた目標(就学強化)に合致するものである。また、同国の2001年の初等教育総就学率は52%であり、サブサハラの平均80%を大きく下回っていることから、同国政府として初等教育普及は、同国の開発政策において非常に高い位置を占めている。なお、現在は行動計画の第3フェーズを策定中であり、MDGsの目標(就学率100%)を見据えた内容となっている。</p> <p>上述のとおり、案件実施当時(現在も)、サブサハラの平均を下回る初等教育総就学率(2007年は73%)であり、親が子供を学校に通わせたくても物理的に学校がないという状況であることから、学校施設に対する地域のニーズは極めて高い。</p> <p>これまでのTICADプロセスにおいて、我が国はアフリカの持続的な発展のための人的基盤作りを重視しており、TICADIVでは具体的に学校建設を支援することを表明している。</p> <p>ジェンダーについては、女子トイレ設置の配慮により、女子児童の就学率が向上した。また、貧困削減及び人間の安全保障の観点からも、本案件は教育アクセスを改善するものである。</p>

<p>4. 施設／機材の適切性・効率性</p>	<p>全般的評価：A－（外部有識者による二次評価:A－）</p> <p>教室等は十二分に使用されているが、未だ教室不足が問題となっている状況である。このため、我が国が供与した小中学校においても2部制を実施している。</p> <p>施設の選択及び投入については想定以上の生徒数が修学していることから適正である。ただし、供与した教室のドアノブはジブチでは入手困難なものであり、修復が困難な状況が見られた。</p> <p>都心部で実施されている学校建設案件と比較すると、本件は想定以上の生徒が修学していることから、費用対効果は妥当である。しかし、ジブチ政府が辺境地を含む地方部において学校建設を行う場合には現地で入手可能な資機材で建設していることから、都市部の学校建設案件と比較すると安価である。ただし、実際の供用期間を含めて比較すると、同政府の学校建設の方が安価であるとはいえない。</p>
<p>5. 効果の発現状況（有効性）</p>	<p>全般的評価：A－（外部有識者による二次評価:A－）</p> <p>依然学校不足は続いており、2部制の授業を実施していることから、成果としては極めて高い。</p> <p>目標については以下の通り達成した。ただし、就学に対する高いジブチのニーズに対応するために、二部制を導入していることが引き続き課題として残っている。</p> <p>&lt;現状&gt;</p> <p>(1) 計画の裨益対象範囲と規模</p> <p>裨益範囲：ジブチ市及びディキルの就学児童</p> <p>裨益人口：3校の新設小学校就学小学生 約1,978人(2007/8年度)</p> <p>※内訳：Gobode993人, Gouled700人, Dihkil285人</p> <p>ジブチ市就学中学生 約20,500人(2007/8年度)</p> <p>※うち新設中学校就学数Gouled2,339人, Dogleh2,376人</p> <p>(2) その他指標</p> <p>①小学校の教育環境改善：</p> <p>対象校の2部教室の割合 20.0%(2007/8年度)</p> <p>②中学校の教育環境改善</p> <p>対象地域の生徒数 50.0人/教室(2007/8年度)</p>
<p>6. インパクト（上位目標への影響等）</p>	<p>全般的評価：A－（外部有識者による二次評価:A－）</p> <p>ジブチ国が現在直面する学校の絶対的不足の解消は本案件のみでは対処困難であるものの、本案件により建設された学校はジブチの教育アクセス改善の象徴的な存在となっており、上位目標に対する大きなインパクトを与えている。</p> <p>親を含め地域全体の学校教育への意識が高まっており、勉学意欲、進級意欲、ドロップアウトの低下などにもインパクトを与えている。</p>

<p>7. 自立発展性・さらなる改善の余地 (改善の余地がある点については以下に記入)</p>	<p>全般的評価：A－ (外部有識者による二次評価 B＋)</p> <p>施設の維持管理については、ジブチ教育省が予算を計上し適切に対応していることから問題ない。</p> <p>学校運営は、各学校長の方針にかなり左右されるところもあるが、適正に教員が配置されており、また、各校の保護者会がしっかりと様々な問題に対処していることから、特段の問題は見受けられない。</p> <p>一部の小学校ではフェンスが未整備であったが、これは物価上昇による建設コストの増大により建設業者との折り合いが付かなかつたためとのことであることから、物価上昇等を的確に見込んだ、先方政府による予算確保及び措置を行う必要がある。</p> <p>学校運営はうまくいっているものの、学校の不足問題にはドナーの支援が必要な状況であり、それに頼り切っているところが見受けられた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ディキル市小学校全景</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>トイレ (2時間に1回清掃)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ジブチ市ゴボデ小学校</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ジブチ市ゴレド小中学校</p> </div> </div>
<p>(1) 対応方針</p>	<p>学校の不足については、他ドナー及び国際機関等の協力の下、的確な計画を策定し学校建設支援を実施していく。</p>
<p>(2) 対応方針理由</p>	<p>絶対的に学校数が不足していることから、財政面の措置を講じる必要があるが、相当の予算措置を必要とするので、他ドナー等とも強調して明確な行動計画のものと的確に実施する必要があるため。</p>

<p>8. 広報効果（ビ ジビリティ ー）</p>	<p>全般的評価：A（外部有識者による二次評価：B+）  教育省をはじめとして政府機関及び学校関係者、児童の両親等にも極めて良く認知されている。  署名式及び竣工式の際には、テレビ、ラジオ及び新聞等で報道されていた。</p>
<p>9. 被援助国に よる評価 （外交的効果に ついて、本欄 に記述する）</p>	<p>政府関係者を含み数多くの人々が大きな効果があったと認識しており、数多くの生徒が同校を卒業し、未来のジブチを担っていくことから外交的効果は高い。</p>
<p>10. 提言・教 訓</p>	<p>①メンテナンス  ジブチ政府として、当然可能な限りのメンテナンス費用を捻出しているが、当国では入手困難な資機材（ドアノブ）の使用によりメンテナンスができない状況が見受けられた。メンテナンスが想定されるものについては、当国で容易に入手できるものを使用すべきである。</p> <p>②質の確保  依然教育アクセスの改善に対するニーズは非常に高いが、教育の質の問題もある。今後、理数科教育などの技プロの支援を行うことで相乗効果が得られるものと思料する。</p>
<p>11. その他</p>	<p>なし</p>